

シバキープエース液剤

実際に使用する際は必ず商品ラベルをよく読み、記載内容に従ってお使いください。

農林水産省登録 第 23827 号

農薬の名称 シバキープエース液剤

農薬の種類 アシュラム・MCP P 液剤

成分

- ・ アシュラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10.0%
[N'-メトキシカルボニルスルファニルアミドナトリウム]
- ・ MCP P・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20.0%
[α -(2-メチル-4-クロロフェノキシ)プロピオン酸カリウム]
- ・ 水、界面活性剤等・・・・・・・・・・・・・・・・ 70.0%

性状 褐色澄明水溶性液体

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		使用方法	総使用回数※
				薬量	希釈水量		
日本芝 (こうらいしば)	—	一年生雑草 多年生広葉雑草	春夏期 芝生育期 (雑草生育期、草丈 10cm 以下)	1~2 mL/m ²	100~200 mL/m ²	雑草 茎葉散布	本剤、 アシュラム 及び MCP P を含む 農薬 3 回 以内
樹木等	公園 庭園	一年生及び 多年生広葉雑草	雑草生育 初期(草丈 20cm 以下)	2~8 mL/m ²	50~100 mL/m ²	植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に 雑草 茎葉散布	
	堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地等	一年生及び 多年生イネ科 雑草 スギナ		4~8 mL/m ²			

※は本剤及び本有効成分を含む農薬を、年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

効果・薬害等の注意

- こうらいしばで使用する場合は、以下のことに注意する（薬害）
 - ▶ 高温期や異常乾燥時または芝生が弱っている時には使用しない。
 - ▶ 萌芽期の散布は、黄化や生育の遅延を生じる場合があるので、使用量を誤らないように注意する。
 - ▶ 植え付け後や更新作業後の根が傷んでいる時期には使用しない。
- ススキ、オギ等の大型多年生イネ科雑草およびセイタカアワダチソウ、イタドリ等大型多年生広葉雑草の優占する所では使用しない（効果）
- イネ科雑草に対しては効果発現まで時間を要するので、草丈が大きくなならないうち（こうらいしばでは、雑草の草丈10cm以下、樹木等では草丈20cm以下）に茎葉に均一に散布する。
- 散布後の降雨は除草効果を減ずるので、天候を見定めてから散布する。
- 草花、植木等周辺の植物には使用しない（薬害）
- 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないように十分に注意する。
- 飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。特に初めて使用する場合は病虫害防除所または販売店と相談することが望ましい。

安全使用上の注意

- 誤飲に注意。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。
- 眼に入らないように注意。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける（刺激性）
- 皮ふに付着しないように注意。皮ふに付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落とす（弱い刺激性）
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意。
- 散布液調製時及び散布時は、保護メガネ、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして、洗眼する。〔保護メガネ着用マーク〕〔マスク着用マーク〕
- 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管。

保管・・・・・・・・密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。

横にしないで立てて保管する。